

岡山大学病院は、造血幹細胞移植推進拠点病院の事業として、造血幹細胞移植に携わる専門的な医療従事者、及び地域の医療従事者の育成を目的としたセミナー、実地研修を行っています。

厚生労働省 造血幹細胞移植医療体制整備事業

# 第5回 造血細胞移植推進拠点病院 小児 中国・四国ブロックセミナー アンケート報告

2017/2/19 (日) 13:30~16:00

岡山コンベンションセンター 3F 301会議室

中国四国地区で小児造血細胞移植を行っている施設を対象に、施設間で差異の大きい支持療法や看護について、困っていること、悩んでいること、他施設に訊いてみたいことなど、気軽に話し合える場を企画いたしました。

参加者60名：うち小児科医師28名 血液内科医師1名 看護師23名 HCTC5名 臨床工学技士2名 薬剤師1名 (岡大含めて15施設参加)

特別講演 13:00~14:30

「小児造血細胞移植における合併症と支持療法」

名古屋第一赤十字病院 小児医療センター血液腫瘍科 加藤剛二 先生

パネルディスカッション 14:30~15:30

コメンテーター

愛媛大学 小児科 田内久道 先生

倉敷中央病院 小児科 今井 剛 先生

広島赤十字・原爆病院 小児科 三木瑞香 先生

兵庫県立こども病院 血液・腫瘍内科 石田敏章 先生

◆ 中四国の小児造血細胞移植の実臨床に関わる18施設の医師・看護師を対象に、同種造血細胞移植の支持療法、および看護についてアンケートを実施。その結果を元に、各施設の状況を話し合いました。

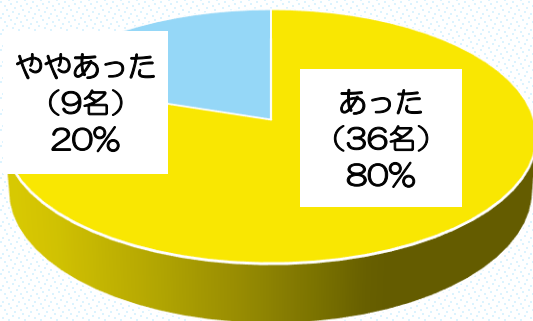
ミニレクチャー 15:30~16:00

広島赤十字・原爆病院 小児科 三木瑞香 先生



## 第5回 小児 中国・四国ブロックセミナー アンケート報告

### セミナーへの参加意義



アンケート回収率 75%

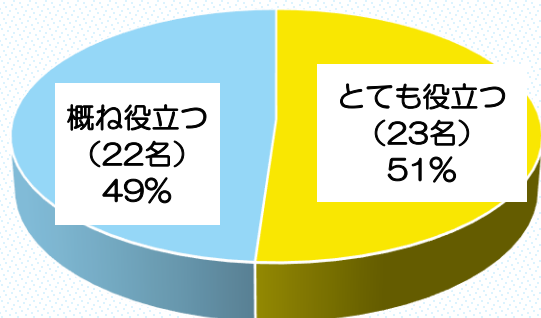


#### 【参加意義があった】

- 移植の合併症のレビューと今後の方向性を示していただいてよかった。各施設の支持療法の現状がわかってよかった。
- 細かなデータがあり、わかりやすかった。
- MACとRICの内容が興味深かった。
- 他施設の情報を聞けることができてよかった。今後参考になることも多く、持ち帰って検討し取り入れることを考えていきたい。
- 普段聞けない話が聞けて、勉強になった。

## 第5回 小児 中国・四国ブロックセミナー アンケート報告

### 実践の役立ち度



#### 【とても役立つ】

- 加藤先生のVOD予防がよかった。
- 移植後合併症対策がためになった。
- 感染対策がわかりやすかった。
- パネルディスカッションの内容は今後にとっても活かせる。
- 今後移植の事例があれば、他の病院の基準などを参考にできると感じた。

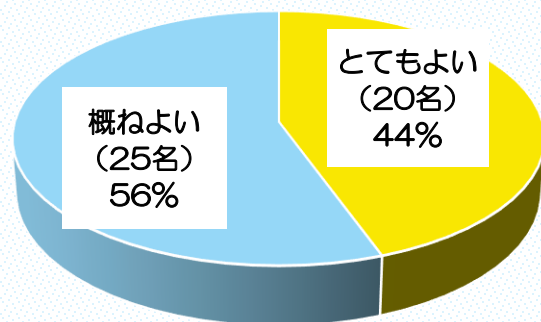


#### 【概ね役立つ】

- 参考になる部分も多かったので、自施設に合せて実践に取り入れたい。
- 移植はしていないが、食事療法について参考になった。
- せっかくの機会なのでもっと長時間でもいいかと思った。

## 第5回 小児 中国・四国ブロックセミナー アンケート報告

### プログラム構成



#### 【とてもよかった】

- 小児科は症例も少ないため、他施設の状況がわかってよかった。
- 参加できてよかった。

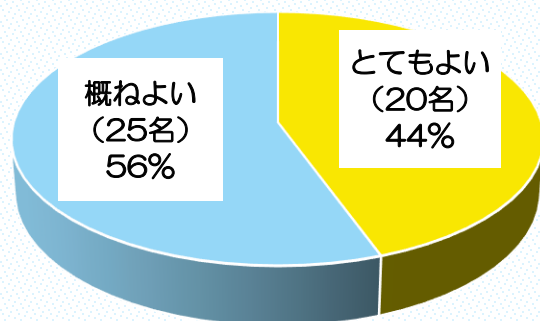
#### 【概ねよかった】

- もう少し時間があってもよいのではないかと感じた。



## 第5回 小児 中国・四国ブロックセミナー アンケート報告

### セミナー評価



#### 【とてもよかった】

- 特別講演、三木先生のお話が勉強になった。

#### 【概ねよかった】

- 講演も、パネルディスカッションもわかりやすかった。
- 新しい知識、情報が得られる。
- 2時間だけの短い期間だったので、せっかくなのでせめて半日は時間をとってよかったと思う。
- 血液内科医師の講義もあればよいと思った。
- 盛り上がらなかった。





## 第5回 小児 中国・四国ブロックセミナー アンケート報告 — 感想・ご要望 —

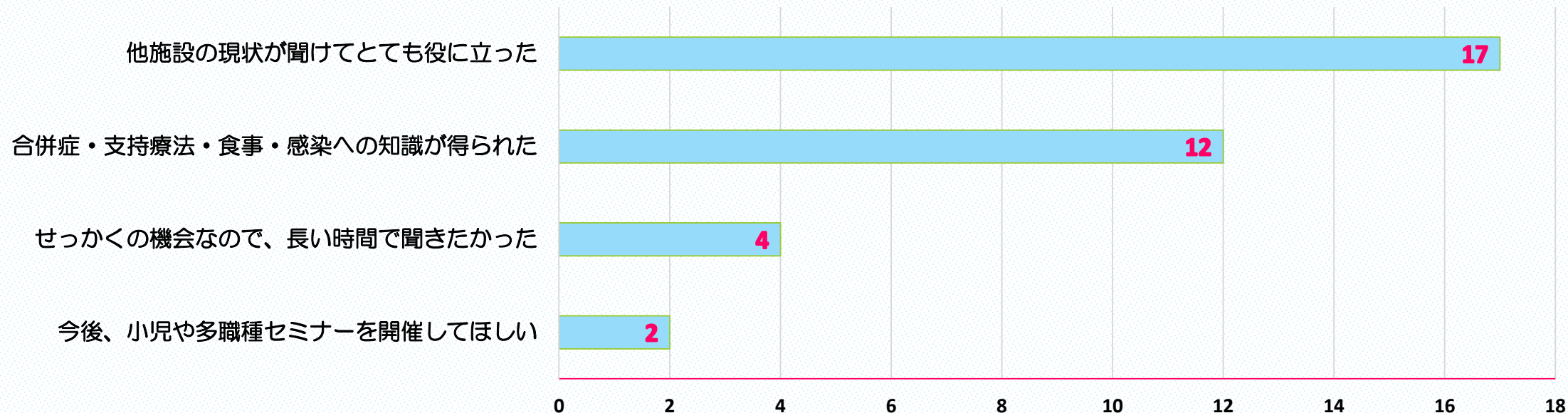
### 【感想】

- 加藤先生、三木先生の講演がとても勉強になった。パネルディスカッションでも各施設の方法が参考になり、自施設についても再確認をすることができた。明日からの臨床に役立つ内容ばかりだった。
- 当院では移植はしばらくしていないが、移植後通院している方は多い。最後のディスカッションでは実際の状況が知れたり、同じような悩み、取り組み等があり、実践に役立った。とても勉強になった。
- 小児のくくりで開催されるものが少ないので、良い機会だった。
- セミナーの精度でいえば、職種ごとにした方がいいかもしれないが、今回のように多職種でのセミナーは、一緒にやっていくうえで貴重なので、こういう機会をいただければと思う。
- せっかくの機会なので、施設間でバラツキの出たこと、例えば「直母をどうする？」ということについてだけでも、中四国ブロックの決定ができればよかったのに、と思った。
- パネルディスカッションに初めて参加したのでよくわからないが、BCRへ持ち込むぬいぐるみや毛布についてなど、あいまいなままで終わった気がする。

### 【ご要望】

- AYA世代の初発時の小児と成人の治療法について違いなどあれば、講義やディスカッションなどで知識を深めたいと思った。
- AYA世代、妊孕性のことを次回にお願いしたい。

## 第5回 小児 中国・四国ブロックセミナー アンケート報告



おかげさまで「第5回 造血細胞移植推進拠点病院 小児 四国・中国ブロックセミナー」を無事終えることができました。ご出席者のみなさま、関係者のみなさまには心よりお礼申し上げます。

今回は講演、パネルディスカッション共に質問が多く、また各施設の取り組みの発表もあり、予定終了時刻を過ぎてしまい申し訳ありませんでした。もっと長い時間での開催を望む声も多く、次回のセミナーに活かしてまいります。

29年度より旅費支給は廃止となります。恐れ入りますがご了承いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

造血幹細胞移植医療体制整備事業 事務局